

私、家庭円満法

家庭円満には、互いの理解、信頼以外に

ほいと思ひます。私、家庭など、外から想像

し水にら、さぞ驚むづかしくて、堅苦しいも

のに見えろかもしれません。若い者夫婦は共

に学者(息子は日本史、大宇教授、嫁は国文

学、短大助教授)で、一万冊を越す膨大が本

の山に囲まれ、<sup>書籍</sup>で読み書きする他は、何

の趣味も持たないからでず。

しかし、実はエーモアに富んだ箱から一家

づいでず。私が家づい各々の仕事や言動に

お互い絶対、信頼と理解をもつています。

毎晩、入浴も、私と嫁と孫娘が一諸に入り、

そこで文章どうり、<sup>裸</sup>にがって何でもペケケケ

ケケ話し合ひがです。幸いことも嫌存之も

サッパリ洗い流して身も心もすがしく、

また明日に向つて頑張ろうという気持ちにが

ります。時々息子が「僕は養子みんじにねし

と云つて笑わせます。こうして、私が家づい

減身に波風、立つことがありません。

LAPE C 150

20x20

(昭和三十一年七月) 澤平泉 所 かなき (67x)



